

V. サバナケット経済特別区開発計画

目的

サバナケット経済特別区開発に際しては下記が目的とされよう。

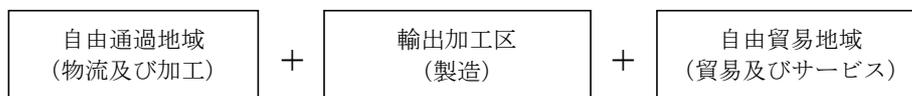
サバナケット経済特別区の目的

- インドシナ半島における地域的な中心地となるための、流通、製造、貿易・商業、サービス等の戦略的セクターの開発
- 雇用の促進と地域における生活水準の向上
- 国際的なビジネス慣行、市場の概念、品物やサービスの品質意識を取り入れ、新規技術・専門知識の吸収を図ることによる、工業・商業の水準向上
- SEZと地域企業の連携を創生することによる、地域企業の水準引き上げ

複合的機能を備えた経済特別区

上記のとおりサバナケットの経済特別区は複合的機能を持ったものとするを提案する。サバナケットを通過する物流と輸送ネットワークを考慮すると、経済特別区は自由貿易地域と自由通過地域を設置することが有益である。経済特別区は輸出加工区の機能と資源を生かし、下記の3つの機能を持たせることを基本とする。

サバナケット SEZ の基本概念



機能

サバナケット経済特別区では下記の機能を持たせることを提案する。

1) 物流及び加工セクター

- 第三国から輸入されるかラオスの他地域から搬入された物資は、再輸出、再販売、配布の為に荷下ろしされ、保税倉庫や一般倉庫に保管され、場合により加工に回される。
- 貨物ターミナルには荷下ろし、積む込み設備が必要となる。;
- 原材料や最終製品の包装、ラベリング、選別作業用の賃貸工場が設置されることが望ましい。
- 特に農産原材料や最終製品の貯蔵と配送用に、冷凍倉庫や低温倉庫の設置が望まれる。
- 倉庫会社、運輸会社、回送業者、加工業者、自動車修理工場の誘致が必要である。

2) 製造業

製造業では下記のような業種の誘致が考えられる。

製造区域への誘致推奨品目

- 木材加工：組立または完成家具、木材半製品、内装用部材、寄木材、床材及び外装材、造園用部材
- 農産品：コーヒー、漬物（大根、キャベツ、白菜）、食用油（ボトリング、ラベリングを含む）
- 縫製及び履物
- 手工芸品：ラオス綿および絹（自然染料、手紡ぎ、手織り）、ラタン家具、竹製品

3) 貿易及び商業：自由市場

- 免税店における免税品小売
- 輸入品の再輸出のための卸売り
- 手工芸品、香木、宝石、その他のラオス製品の卸売り活動
- 輸出及び再輸出促進のために貿易代行業者が招致される。
- 卸売りや輸出促進活動を支援するために、様々な事務所、展示室、会議室、セミナー・ルーム

4) サービス部門（観光及びサービス産業）

- 商用および観光客向けのホテル（会議を開ける設備を備える。）

5) 支援機能

- SEZ 当局の本部としてのアドミニストレーション・センター
- マーケティングセンター
- 不動産開発及びユーティリティー供給
- 金融サービス
- 訓練

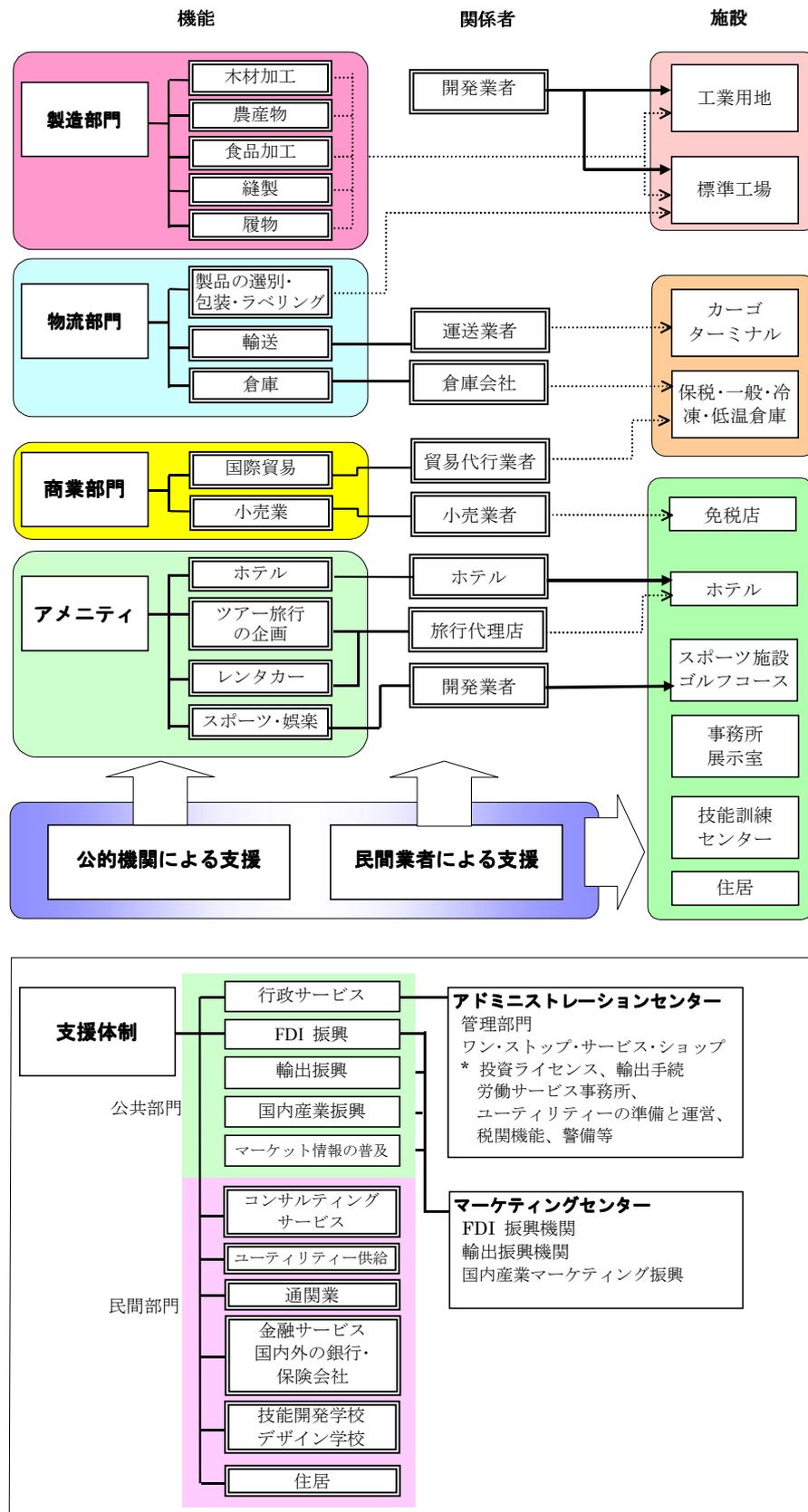


図 S-4 サバナケット SEZ の想定し得る機能